

複数サイトに記録されたデータに対する個人情報保護の課題

Problems of personal information for data recorded by multiple sites

丸山祐吾†
Yugo Maruyama

宇田隆幸†
Takayuki Uda

*新潟国際情報大学情報文化学部情報システム学科

1. はじめに

近年、高度情報化社会の進展に伴い個人情報を含む情報が流通している。それらの中で個人情報を事業として取り扱う者（以下、事業者とする）には、個人情報保護に関する法律 2 条 3 項（以下、個人情報保護法とする）が適用される

個人情報保護とは、個人の権利と利益を保護するため個人情報の適正な取り扱い方の理念や基本方針を定めた法律である。

しかしながら上記のような個人情報保護法は単一の事業者に適用される法律である。したがって個人が発信した情報をまとめサイトなどが収集して公開された場合など個人を特定することが可能となり問題が生ずる。

本研究では、この問題を解消するための法構成を対案するに先立ち、複数サイトに記録されたデータによって個人が名寄せされる様々な場面を洗い出す。

2. 個人情報の定義

個人情報とは、「生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述や個人識別符号等、特定の個人を識別できるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）」と定義されており、事業者が保有しているものを「保有個人データ」と呼ぶ。通常、保有個人データを収集、利用する際には本人の同意や利用目的を明確にする必要がある。

3. 情報の収集と発信

3.1. 特定個人による複数サイトへの情報発信

通常、個人情報は事業者が事業の目的のために個人情報を収集し、適切に管理している。このような場合は 1 章で述べたように個人情報保護法が適応される。

一方で個人が複数のサイトでサイトの趣旨に応じた情報発信を実施した場合、特定個人の情報が名寄せ処理によって情報が割り出され、割り出された情報が個人の特定期に結びつくこともある。しかし、この場合には個人情報保護法が適用されることはない。

3.2. 具体例

例えばインターネットでとある高校の進路情報、予備校の合格体験記、大学の在学生出身県一覧から以下のような情報が得たとする。図 1 に示すように各サイトで特定個人に共通する要素同士を突合することで「新潟県立〇〇高校出身の M,Y 君は××予備校に通い、B 大学に進学」という情報を容易に取得できる。また、これらの情報から「長期休暇には帰省するのではないかな？」を推測できる。

図 1. 発信情報の例

<平成 30 年度 新潟県立〇〇高校卒業生進路>
進学…70%
就職…28%
その他…2%

<××予備校 合格者体験記>
新潟県立〇〇高校 M,Y 君
弱点であった理系科目の強化で無事合格できました。

B 大学合格

<B 大学 在学生出身県一覧>
北海道…2 名
宮城…2 名
新潟…1 名
群馬…4 名
東京…12 名

4. 個人特定を可能とする情報

個人を示すデータは他にも様々ありサイト内で使用する ID 名も含まれる。また形態素解析を行うことで複数の文章の類似性を計算することが可能となるため、自然言語をコンピュータ上で処理しやすくなるようになる。この特性を利用して、ベクトル空間法による文書の類似度の算出を行うことが可能となるため、サイト内に記入されているコメントや文章さえも個人を割り出すデータとなり得るのである。

5. 調査事項に関する考察

現代、SNS の普及により多くの人が文章や自身の情報をネット上に書き込む機会が多くなっている。また、IoT が発達しデータが多様化しデータの量も膨大になる。これらの無数に存在する情報は単一で意味を成さないものが多いが組み合わせ次第では個人を極限まで絞り込み、場合によっては個人を特定してしまう情報となってしまう可能性がある。そのため今後、個人を特定するための情報が格段に増加してしまう。

個人が特定しやすくなったことで、その個人に適したモノやサービスの提供時の精度が向上するなど商業的側面での利点がある一方で、個人の行動履歴をもとにストーカー行為を行うなどの犯罪行為につながるってしまうことも予想できる。

6. おわりに

本研究の目的は複数サイトから個人の特定が可能となりその場合、現行の個人情報保護法では対処できないという問題点を発見することである。本論中 3, 4 章でその具体的な事象について述べることで目的を達成した。今回の研究では上記の場合における個人情報保護法の改善点。また情報リテラシー能力を高める教育面での課題を見つける。

<文献>

[1] 奥村久道, 新保史生. "電子ネットワークと個人情報保護" 2002 年

[2] 村上征勝, "真贋の科学". 1994 年